栃木県の経済情勢報告

令和７年４月22日

財務省関東財務局
宇都宮財務事務所

お問い合わせ先
宇都宮財務事務所 財務課
電話番号　028-346-6301　（直通）

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項　　目	前回（7 年 1 月判断）	今回（7 年 4 月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	**持ち直している**	→

（注）7 年 4 月判断は、前回 1 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、横ばいの状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項　　目	前回（7 年 1 月判断）	今回（7 年 4 月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	**緩やかに回復しつつある**	→
生産活動	横ばいの状況にある	**横ばいの状況にある**	→
雇用情勢	緩やかに持ち直している	**緩やかに持ち直している**	→
設備投資	6 年度は増加見込みとなっている	**6 年度は増加見込みとなっている**	→
企業収益	6 年度は減益見込みとなっている	**6 年度は増益見込みとなっている**	↗
企業の景況感	「下降」超となっている	**「下降」超となっている**	→
住宅建設	前年を下回っている	**前年を上回っている**	↗
公共事業	前年を下回っている	**前年を上回っている**	↗

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善や、各種政策効果が持ち直しの動きを支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっている。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に一層注意する必要がある。

2. 各論

■　個人消費　「緩やかに回復しつつある」

ホームセンター販売額は前年を下回っているものの、百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額等は前年を上回っている。乗用車新車登録届出台数は前年を上回っている。また、宿泊や飲食サービスについては緩やかに回復しつつある。このように、個人消費は緩やかに回復しつつある。

（主なヒアリング結果）

- ➢ 3月上旬まで寒い日が続いたことで、冬物衣料の在庫処分セールが好調だった一方、春物衣料の動き出しに遅れが生じた。（百貨店・スーパー）
- ➢ 値上げ幅が外食産業と比べて小さいため、価格転嫁による客離れは起きていない。（百貨店・スーパー）
- ➢ 商品価格は上昇しているものの、利用者の買上点数は 2～3 品程度であり、大きな変化はみられない。また、客数も大きな変化はみられない。（コンビニエンスストア）
- ➢ 前年に比べ寒い日が多かったことから、風邪薬や咳止めの売上げが伸長。このほか、晴天が続いたことから、乾燥対策として保湿剤の売れ行きも良かった。また、足下では花粉症対策商品の売上げも伸びている。（ドラッグストア）
- ➢ 寒波の影響などでエアコン、加湿器、セラミックヒーターなどの季節家電の販売が好調だった。（家電量販店）
- ➢ 価格転嫁により客単価は上昇しているが、買上点数は減少傾向にある。特に日用品は安価で販売する別の業界に消費者が流れている。（ホームセンター）
- ➢ 人気車種の新車販売動向が好調であるほか、中古車の売上げも好調。（自動車販売）
- ➢ 価格転嫁を毎年継続的に実施しているが、客数は前年並みで推移しており、売上高は前年比で増加している。価格上昇について消費者からある程度理解を得られているように感じる。（飲食サービス）
- ➢ 日光東照宮周辺では外国人観光客が増加しており、当館の宿泊者数も増加傾向にある。（宿泊）

■ 生産活動 「横ばいの状況にある」

鉱工業生産指数を業種別にみると、生産用機械、金属製品等が上昇している一方、輸送機械が低下しているなど、横ばいの状況にある。

- ➢ 生産の中心となる市場が中国から東南アジア等に移りつつあることで、同地域周辺の市場を中心に需要が高まっていることも要因として生産量が増加。（生産用機械）
- ➢ 国内外の取引先において在庫調整や販売不振があったものの、認証不正問題等による自動車メーカーの出荷抑制の影響は緩和していることから、生産量全体では大きな変動はない。（金属製品）
- ➢ 国内外の需要が減少しており減産傾向が足下まで継続している。（輸送機械）

■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

有効求人倍率、新規求人数ともに底堅く推移しており、雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

- ➢ 人手の過不足感は適正だが技術系の若手職員が少なく、専門知識を持つ日本人の職員は減少傾向にある。（製造業）
- ➢ ハウスメーカーや関連業界で働く人の数が減少傾向にある。特に営業部門において不足感が強く、新卒採用が難航しているため中途採用に力を入れている。（建設）
- ➢ 店舗によってはスキマバイトを活用して不足分を補っている。スキマバイトの人員は洗い物等の単純作業に従事してもらい、社員の負担を減らすようにしている。（飲食サービス）

■ 設備投資 「6年度は増加見込みとなっている」（全規模・全産業）「法人企業景気予測調査」7年1～3月期

○ 6年度の設備投資計画額をみると、製造業では前年比49.1%の増加見込み、非製造業では同25.6%の増加見込みとなっており、全産業では同43.0%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「6年度は増益見込みとなっている」（全規模）「法人企業景気予測調査」7年1～3月期

○ 6年度の経常利益（除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」）をみると、製造業では前年比11.0%の増益見込み、非製造業では同3.2%の増益見込みとなっており、全体では同8.8%の増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超となっている」（全規模・全産業）「法人企業景気予測調査」7年1～3月期

○ 企業の景況判断BSIを現状判断についてみると、全規模・全産業で「下降」超となっている。なお、先行きについて、全規模・全産業でみると、7年4～6月期は「下降」超で推移する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回っている」

○ 新設住宅着工戸数をみると、持家は前年を下回っているが、貸家、分譲住宅は前年を上回っており、全体としては前年を上回っている。

■ 公共事業 「前年を上回っている」

○ 前払金保証請負金額をみると、県は前年を下回っているが、国、市町は前年を上回っており、全体としては前年を上回っている。

■ 企業倒産 「倒産件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回っている」

財務局
Local Finance Bureaus

栃木県の経済情勢報告

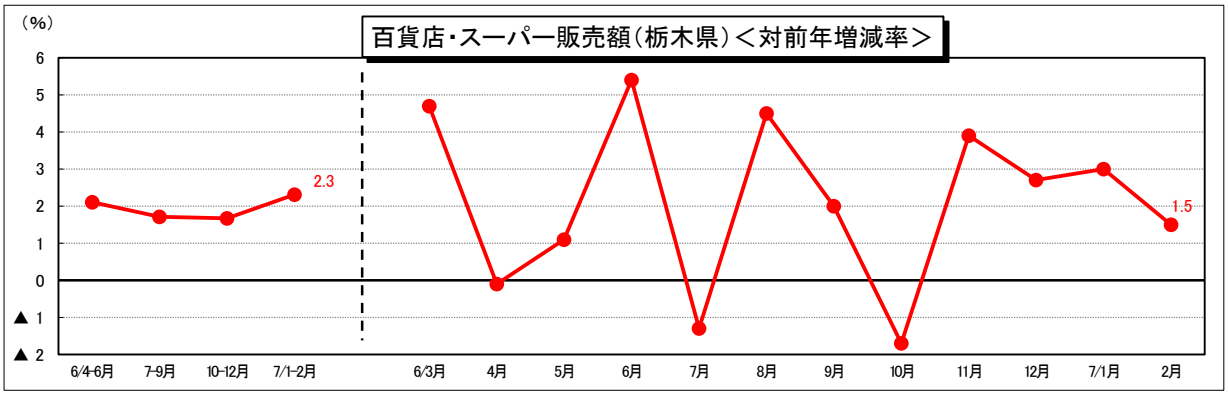
資　料　編

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

1. 個人消費

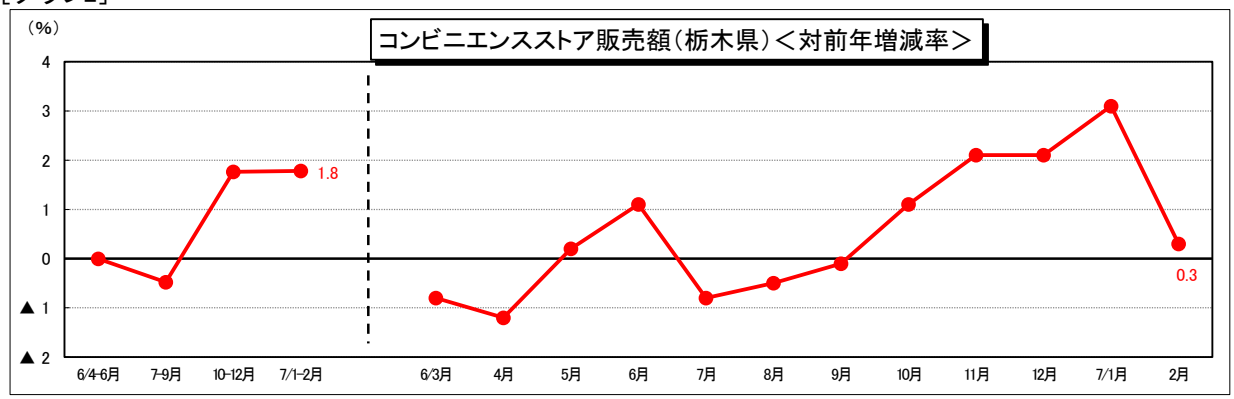
緩やかに回復しつつある

[グラフ1]



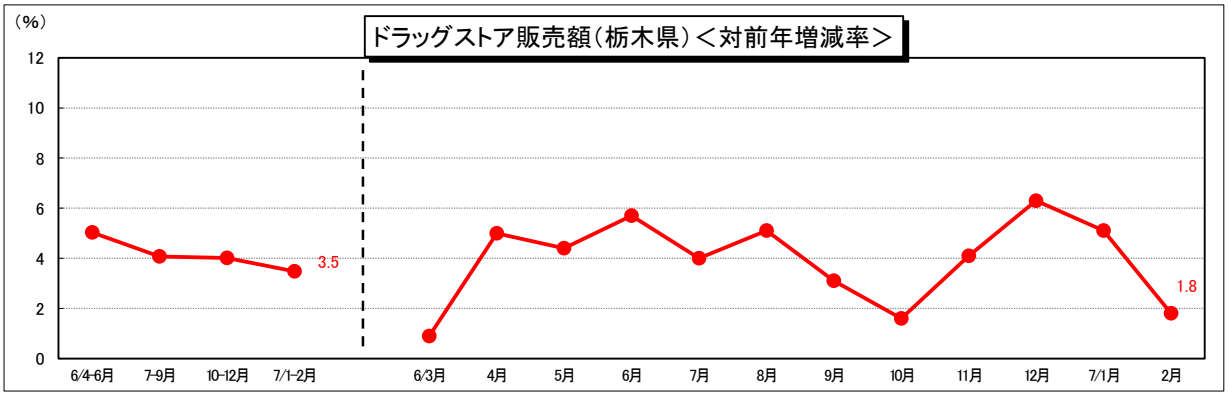
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工　※全店ベース

[グラフ2]



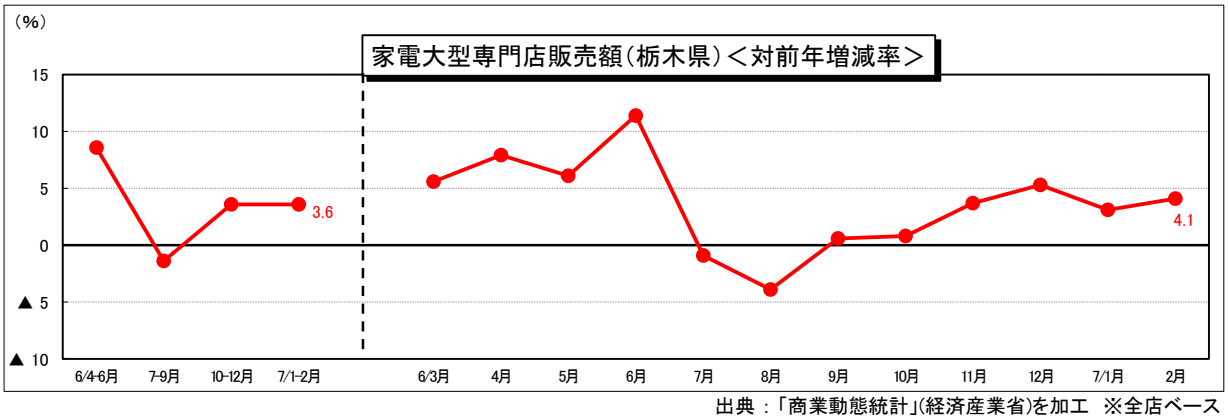
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工　※全店ベース

[グラフ3]



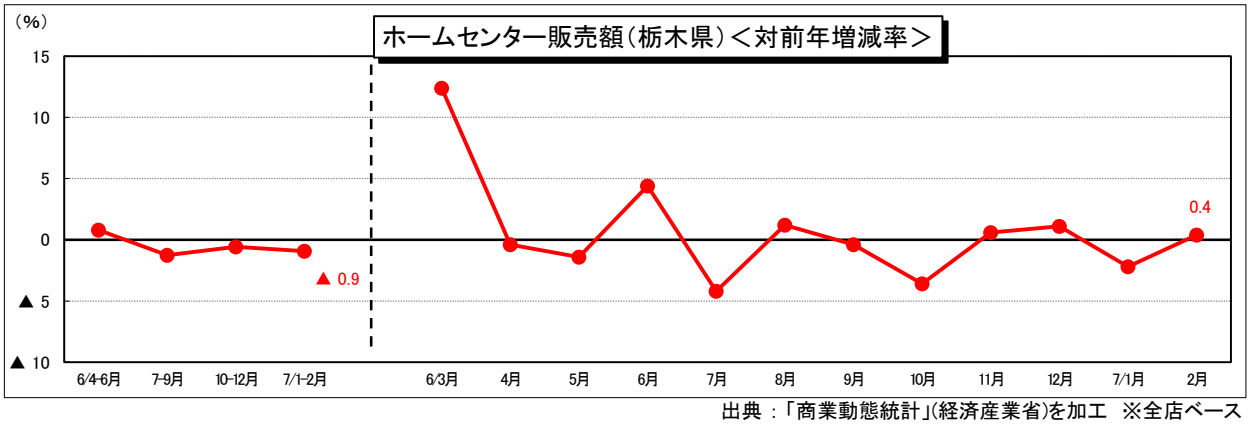
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工　※全店ベース

[グラフ4]



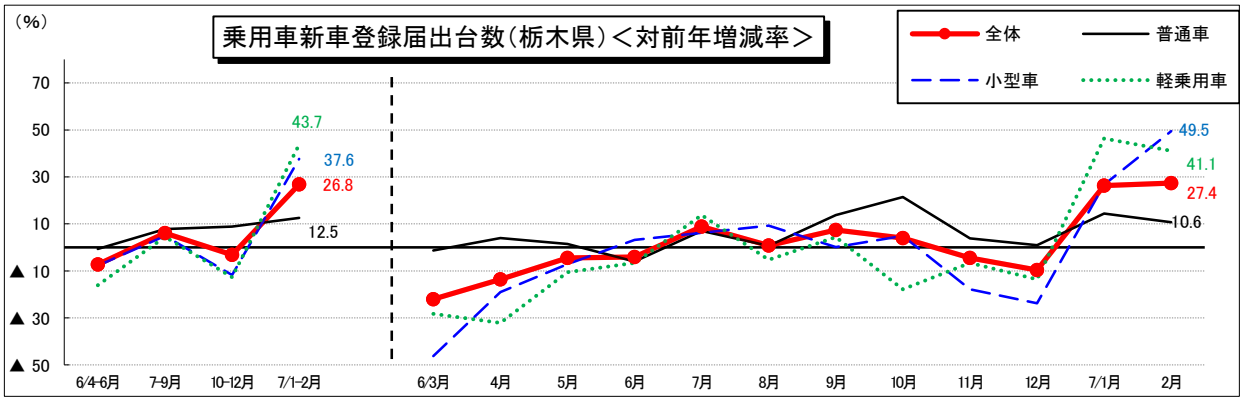
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工　※全店ベース

[グラフ5]



出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工　※全店ベース

[グラフ6]

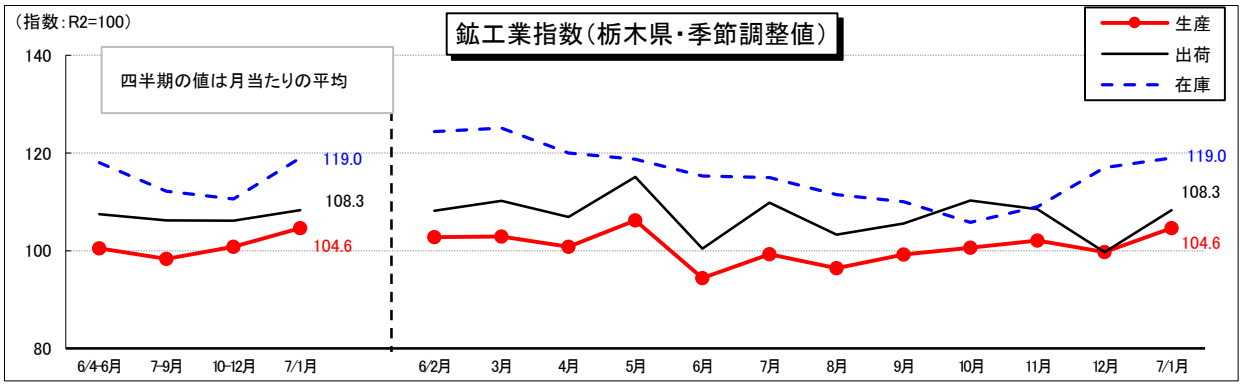


出典：「新車登録台数」((一社)日本自動車販売協会連合会)を加工、「軽四輪車県別新車販売台数」((一社)全国軽自動車協会連合会)を加工

2. 生産活動

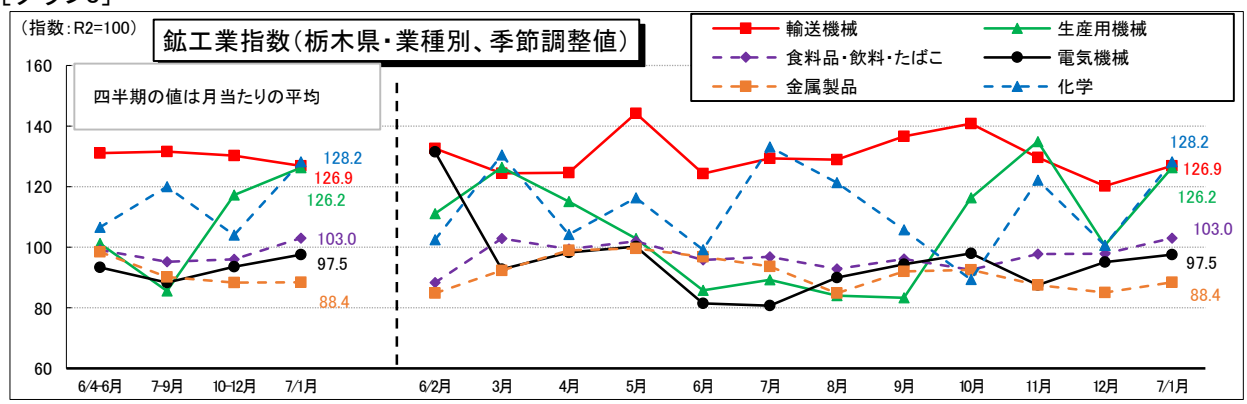
横ばいの状況にある

[グラフ7]



出典：「栃木県鉱工業指数」(栃木県)を加工

[グラフ8]

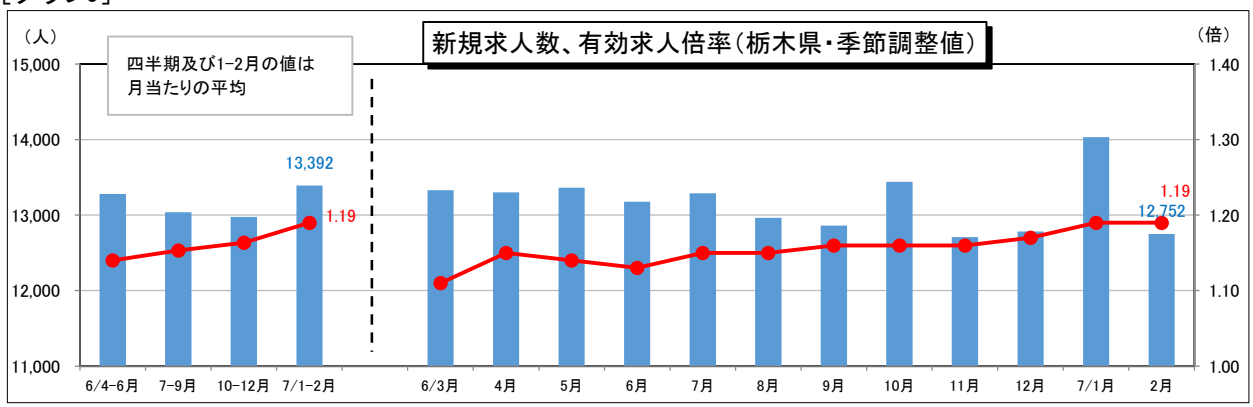


出典：「栃木県鉱工業指数」(栃木県)を加工

3. 雇用情勢

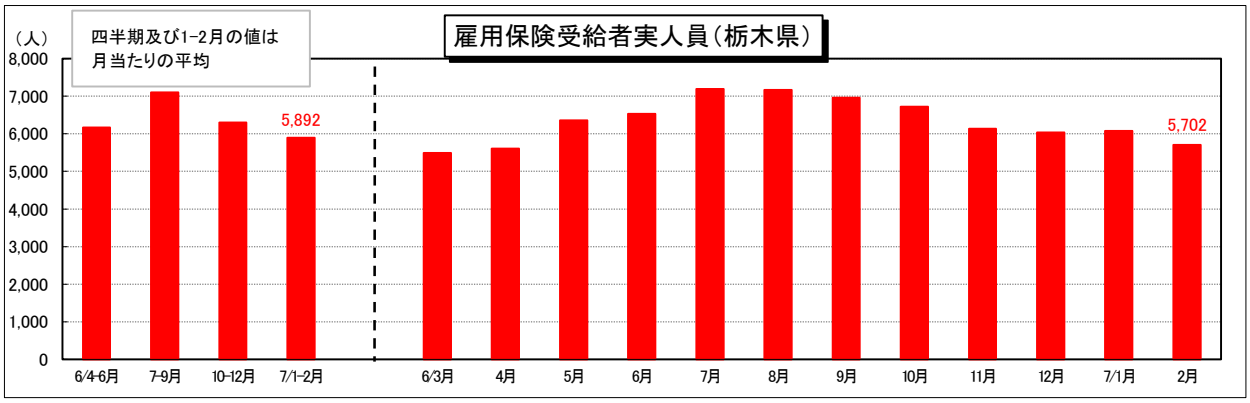
緩やかに持ち直している

[グラフ9]



出典：「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」(厚生労働省)を加工　※新規学卒者を除きパートタイムを含む

[グラフ10]

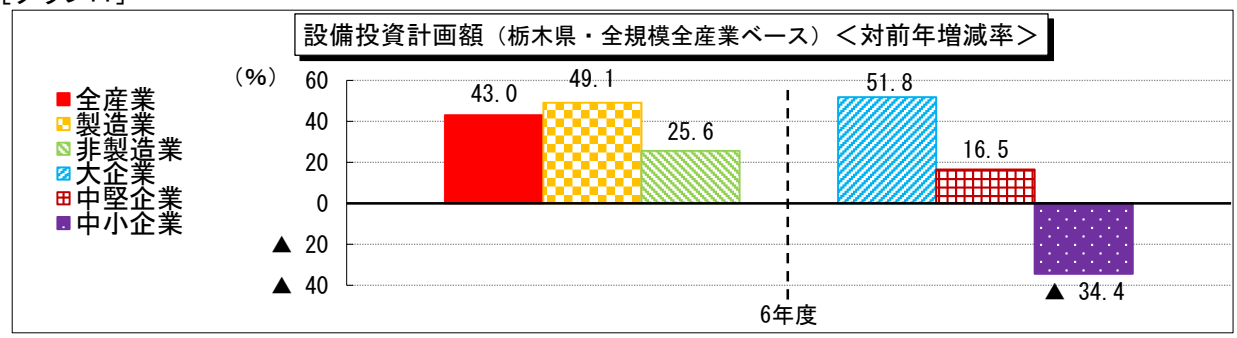


出典：「労働市場のようす」(栃木労働局)を加工

4. 設備投資

6年度は増加見込みとなっている

[グラフ11]

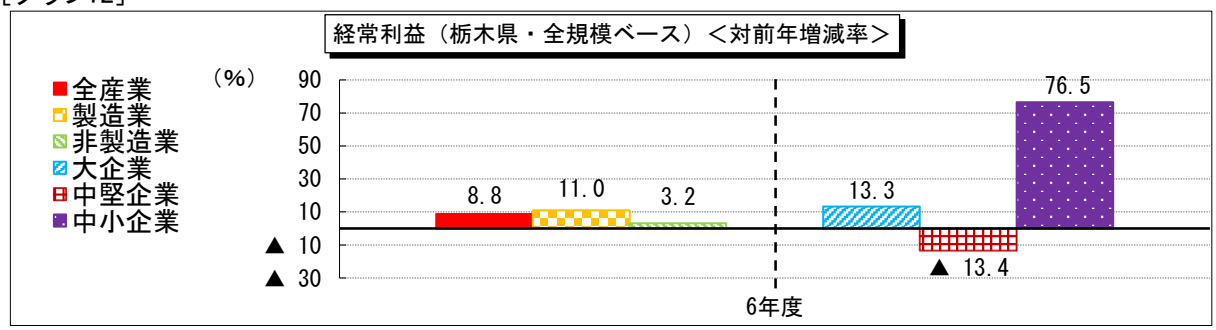


出典：「法人企業景気予測調査(令和7年1～3月期)栃木県分」(宇都宮財務事務所)

5. 企業収益

6年度は増益見込みとなっている

[グラフ12]

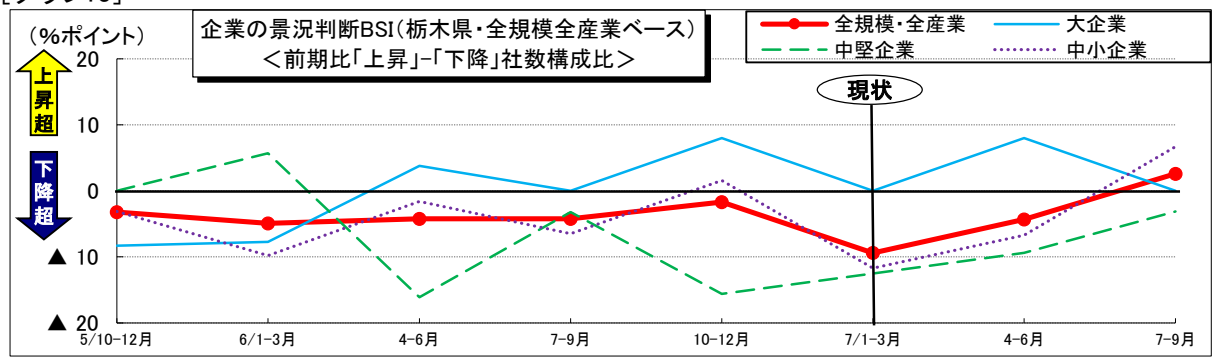


出典：「法人企業景気予測調査(令和7年1～3月期)栃木県分」(宇都宮財務事務所)

6. 企業の景況感

「下降」超となっている

[グラフ13]

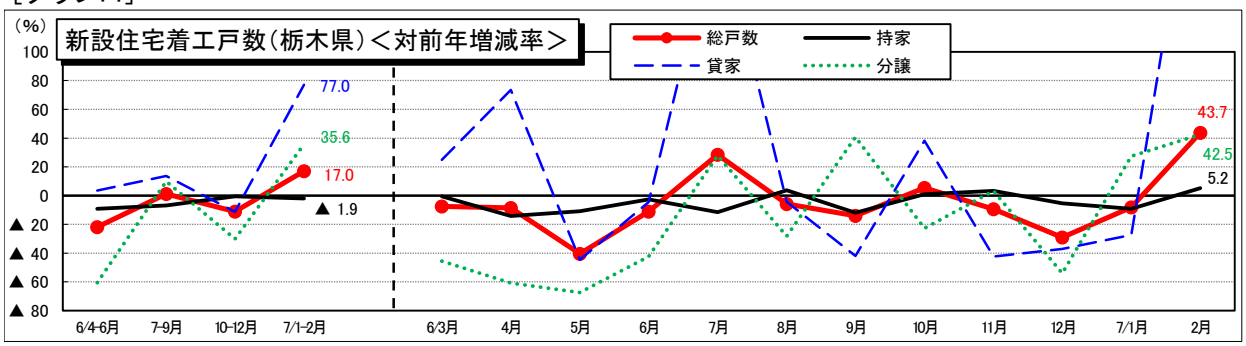


出典：「法人企業景気予測調査(令和7年1～3月期)栃木県分」(宇都宮財務事務所)

7. 住宅建設

前年を上回っている

[グラフ14]



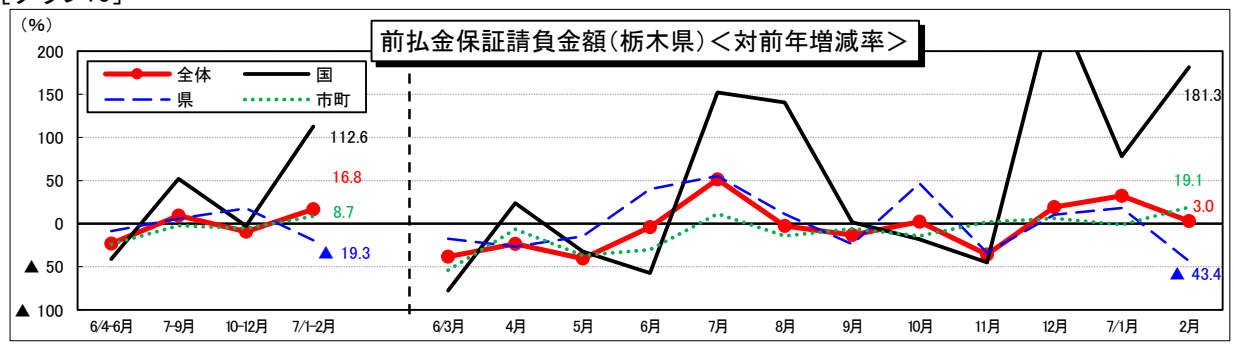
出典：「住宅着工統計」(国土交通省)を加工

（注）令和6年7月、令和7年2月の「貸家」の数値は、それぞれ前年比+191.5%、+262.1%となっている。

8. 公共事業

前年を上回っている

[グラフ15]



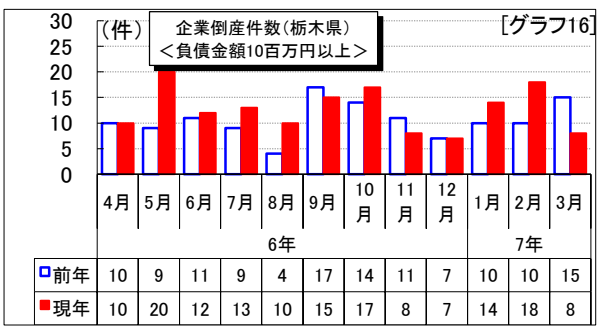
出典：「公共工事前払金保証統計」(北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)を加工

（注）令和6年12月の「国」の数値は前年比+261.5%となっている。

9. 企業倒産

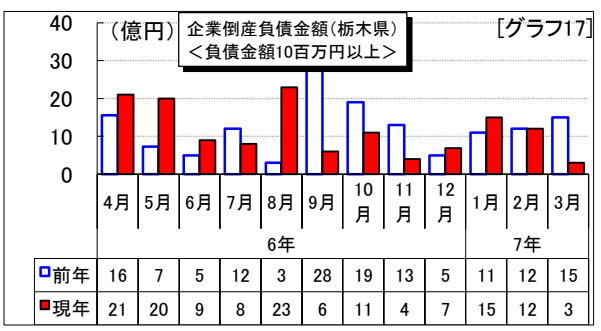
倒産件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回っている

[グラフ16]



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前年	10	9	11	9	4	17	14	11	7	10	10	15
現年	10	20	12	13	10	15	17	8	7	14	18	8

[グラフ17]



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前年	16	7	5	12	3	28	19	13	5	11	12	15
現年	21	20	9	8	23	6	11	4	7	15	12	3

出典：「栃木県内企業倒産整理状況」(㈱東京商工リサーチ 宇都宮支店)を加工